

## Question

歯科人間ドックではどんな検査を受けられるのでしょうか？

質問者

(東京都 T.O.さん・76回)

## Answer

歯科人間ドックの検査項目としては、X線検査、全身所見の観察、唾液検査、頭頸部の診察、顎関節検査、口腔粘膜検査、う蝕検査、歯周病検査、咬合検査があります。一般社団法人日本歯科人間ドック学会では歯科人間ドックの基本メニューとして上記の項目を挙げており、どの歯科医院でも統一した手技、器具機材で基本メニューを実施できるように「歯科人間ドック基本マニュアル」が出版されています。また、検査手技を修得するための学会による研修会も年に数回行われています。

歯科人間ドックを受診することで以下のようなメリットが得られ、口腔の健康維持・増進に役立てることができます。

1. 現在の口腔の健康度を確認できる。
2. 歯科疾患、口腔粘膜病変を早期に発見できる。
3. 疾患のリスクを確認できる。

歯科人間ドックでは様々な検査を通して、受診者が自身の口腔に関心を持ち、健康維持のために定期的な歯科受診の動機付けを行うことを目標としています。また、疾患の発生を未然に防ぎ、早期に発見することで、従来の「痛くなってから歯科医院に通う」状態と比較して、受診者の肉体的、時間的、経済的負担を軽減できる可能性があります。

ここで、口腔粘膜検査で使われている新しい検査技術をご紹介します。蛍光粘膜観察装置 VELscope<sup>®</sup> は約460nmの青色光を当てて、粘膜の異常を発見する装置です。正常な粘膜は緑色、異常のある部位は黒色に見えます(図)。

当院では、検査および結果の報告は歯科人間ドック担当の歯科医師と歯科衛生士がペアを組んで行っておりますが、疾患が疑われる場合には各科の専門医が精査・加療を行う体制を取っております。

検査についてのご質問や、受診のご相談は、附属病院 歯科人間ドックまでお気軽にお問い合わせください。



図 VELscope<sup>®</sup>による口腔粘膜検査

- a VELscope<sup>®</sup>の外観
- b 口腔粘膜検査の様子
- c VELscope<sup>®</sup>による正常粘膜の観察  
正常な粘膜は緑色に見える  
異常のある部位は黒色に見える



### 参考文献

- 1) 小川智久編, 日本歯科人間ドック学会編著: これさえあれば明日からできる! 新・歯科人間ドック基本マニュアル, クインテッセンス株式会社, 東京, 2013.
- 2) 宇垣吉秀ほか: 早期口腔癌におけるVELscope<sup>®</sup>システムの有用性について, 日本口腔診断学会雑誌, 24 (3), 296-301, 2011.

質問の回答者



いわた ひろし  
岩田 洋

附属病院 歯科放射線・口腔病理診断科